

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔41〕 東京都台東区立寿児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、13こどもクラブ（平成22年10月から14こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（22年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,679,789,578円、支出2,542,831,771円、収支差額136,957,807円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	寿1-4-5					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC地上3階地下2階建て 遊戯室・図書室・図工室・集会室兼小遊戯室・こどもクラブ室等					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない。					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	29,330,000	33,698,000	37,773,000	38,579,000	42,570,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	29,330,000	33,698,000	37,773,000	38,579,000	42,570,000
決算	委託料	29,974,207	35,216,328	36,221,768	36,146,675	36,790,997
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	29,974,207	35,216,328	36,221,768	36,146,675	36,790,997
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	335	334	333	334
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用者数		人	40,000	40,861	38,458	38,552

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

・公園などを利用した地域での館外活動を心がけ、地域との連携を強化した。  
 ・22年度に旧寿保育園2階部分を児童館に転用する改修工事を行なったため、小遊戯室兼集会室が出来たことで、幼児親子や小学校低学年、高学年の使い分けによる利用者の利便性向上に取り組んだ。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(g) 自主事業の成果 [-]	(h) 個人情報保護 [2]
	(b) サービス水準 [2]	(i) 緊急時対応マニュアル [2]	(j) 警備・防犯体制 [2]	
	(c) 職員配置 [2]			
	(d) 職員研修 [2]			
	(e) 案内・接遇 [2]			
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]	(g) 業務委託の事前承認 [2]
	(b) 備品の管理 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c) 清掃・衛生管理 [2]			
	(d) 施設の修繕 [2]			
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [3]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [2]	
	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c) 利用者数の目標達成 [2]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [-]	
	(b) 経費削減のための取組み [2]			

**9. 評価**

S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	子ども達企画の定期的なクラブ活動や職員も一緒になって遊び込む集団遊び等を行なうなど幅広い事業を行っている。また、個人情報保護や危機管理は、組織として研修・指導を徹底している。
(2) 施設の維持管理	A	平成22年度に旧保育園部分を児童館に転用する改修工事を行なったため、地下2階から3階まで、全館管理することになったが、自主的な修繕も含めて、適正に管理されている。
(3) 利用者の満足度	S	掲示板・図書・遊具を幼児と小学生で分けてわかり易くした。また活発な遊びは地下の遊戯室、幼児や静かな遊びは、2階の小遊戯室とするなど利用者の住み分けを行い、混乱を改善した結果、児童館が楽しい・満足とのアンケート結果が出ている。
(4) 歳入歳出	A	22年度後半から、2階部分を拡充するため人員増の予算化をしていたが、職員の連携や事務分担の工夫により、経費を削減した。

**10. 総合評価**      良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	22年度は、1・2階改修工事や震災の影響から利用者が目標値には達しなかったが、地域関係機関との連携強化により、子ども達の見守りや児童館の活動への協力も得られ、子ども達のやりたい気持ちを育成する様々な事業を提供している。
-----------	---

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

小学校低学年の児童に比べて、高学年の利用が少ないため、高学年向けのプログラムや設定に配慮した事業展開に努力する。